



「京都ふおんと」を活用した 公共施設のパネル展示・サインデザイン



「京都ふおんと」は、障がいのあるアーティストと福祉施設、タカラサプライコミュニケーションズのデザイナーチームによる「共創アートワーク」です。

2025年8月に京都市東山区役所で開催された、人権協調月間の取り組みとして、「京都ふおんと」の活動をパネル展示としてご紹介いただきました。この展示が非常に好評だったことから、さらに多くの方に東山区役所へ足を運んでもらいたいという思いのもと、新作を含むパネル展示に加えて、庁舎1階の窓ガラスに掲出する図書館案内のサインに京都ふおんとを使用していただきました。

図書館のサインに使用した文字は、アーティストがオリジナルで書き起こした文字をもとに、当社が「図書館」を想起させる、京都らしいサインデザインへと仕上げています。サインのデザインに京都ふおんとが採用されたのは今回が初めての事例となりました。

【お客様の評価】

図書館の案内掲示など、実際に活用されている『京都ふおんと』を見ていただくことで、企業や個人の方々に「こんな風に見えるんだ!」とイメージを膨らませてもらえるきっかけになったと感じています。来庁者や図書館関係者からも非常に好評で、「庁舎内が明るくなった」「京都ふおんとについて興味を持った」などの声をいただいています。今後も『京都ふおんと』を活用した取組を実施していきたいです。